

特記仕様書

阿木恵那国有林 森林環境保全整備事業(地拵ほか) 東濃2

作業種	林小班	仕 様		備 考
		筋 刈		
		植 幅 (刈 幅)	置 幅 (残 し 幅)	
新 植 地 拵	阿木恵那1041れ	3.00 m	2.00 m	筋刈地拵(刈払)
	阿木恵那1043ね	3.00 m	2.00 m	筋刈地拵(刈払)
	阿木恵那1043な	3.00 m	2.00 m	筋刈地拵(刈払)

※植幅(刈幅)・置幅(残し幅)は水平距離表示であり、傾斜角がある場合は実距離(斜距離)に換算した値とする。

※上記の仕様によりがたい場合は、監督職員の指示によるものとする。

特記仕様書

阿木恵那国有林 森林環境保全整備事業(地拵ほか) 東濃2

作 業 種	林 小 班	仕 様			
		刈 払 方 法	刈 幅	置 幅	そ の 他
下刈	阿木恵那1041た	筋刈	3.00 m	2.00 m	
	阿木恵那1047そ	筋刈	3.00 m	2.00 m	

※刈幅の距離は水平距離表示であり、傾斜角がある場合は実距離（斜距離）に換算した値とする。

※上記の仕様によりがたい場合は、監督職員の指示によるものとする。

特記仕様書

阿木恵那国有林 森林環境保全整備事業(地拵ほか) 東濃2

作 業 種	適 用 林 小 班	数 量		仕 様	
		面 積	延 長 距 離	土 道 幅 員	刈 払 幅 員
歩道整備 (新設)	阿木恵那1041は外	0.01 ha	0.22 km	60 cm	2.00 m

※延長距離については実距離(斜距離)である。

※上記の仕様によりがたい場合は、監督職員の指示によるものとする。

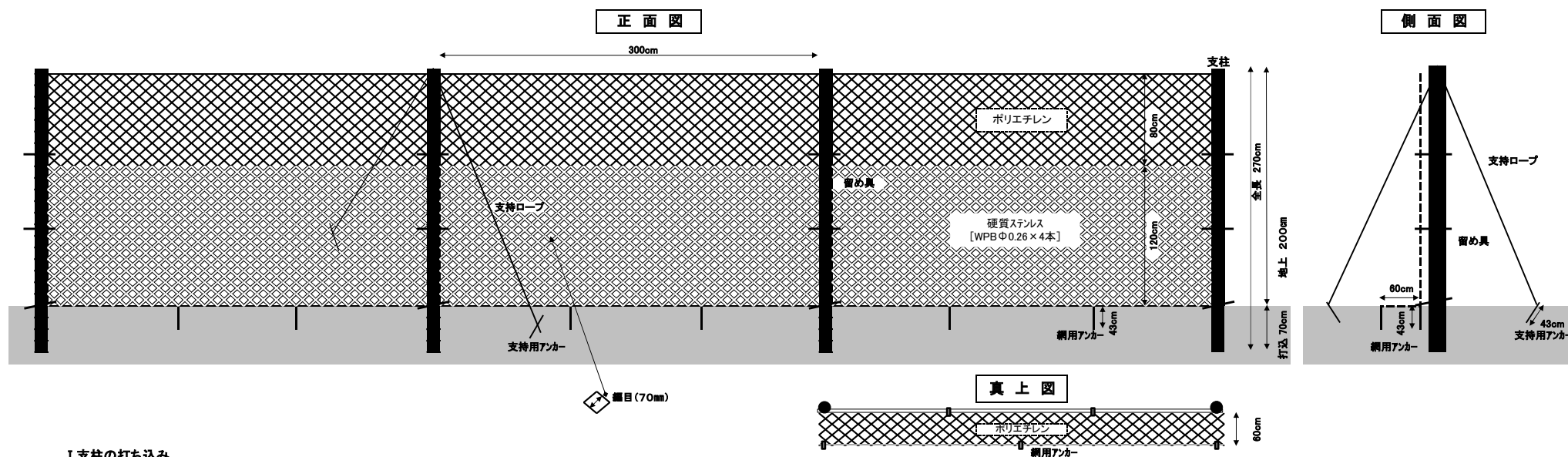
特記仕様書

阿木恵那国有林 森林環境保全整備事業(地拵ほか) 東濃2

作業種	適用 林小班	作設 距離 m	網			ロープ				留め具			支柱			備考
			網種	目合 mm	幅(高) mm	上段 張り用	下段 押さえ用	スカート 押さえ用	支持 (補助)用	アンカー (網)	アンカー (支持用)	結束具	規格	長さ mm	キャップ	
防護柵 作設	阿木恵那 1041れ	1,310	ステンレス 入りネット	70mm 以下	2,600mm	PEロープ° φ 8mm	PEロープ° φ 6mm	PEロープ° φ 4mm	PEロープ° φ 6mm	プラスチック製 430mm 支柱間4本	プラスチック製 430mm	ステンレス #19	樹脂製FRP支柱 支柱間隔3.0mに1本	φ 38mm L2,700mm	プラスチック製 φ 38mm	出入口 13箇所
	阿木恵那 1043ね	1,200														出入口 12箇所
	阿木恵那 1043な	2,100														出入口 21箇所

- ※作設距離は実距離(斜距離)である。
- ※同等規格品以上の製品とすること。
- ※作設仕様は別紙、標準構造図による。
- ※標準構造図により作設しがたい箇所がある場合は、監督職員と協議のうえ実施すること。

獣害防護柵(ステン入りネット) 標準構造図



I 支柱の打ち込み

- ① 現場の状況を確認のうえ、網を施工する周辺を刈り払い、障害物等も除去する。
- ② 支柱間隔は3mとする。岩石等で不可能な場合は前後に移動する。
- ③ 打ち込み深は70cmとする。

II 網の設置

- ① 支柱の外側に張り、上部をロープで固定する。
- ② 支柱と網は、上中下の3箇所を留め具で固定する。
- ③ この際、ピンと張らず、適度な「たるみ」を持たせる。
- ④ 下部は、地際から外側に広げる。(60cm)
- ⑤ 支柱間の下部ロープと外側に計4箇所(ほぼ均等)アンカーを打ち込む。なお、必要に応じて岩石、末木枝条、株等で網を押さえる。

III 支柱の補強

- ① 2方向程度に支持ロープを張り、アンカーで固定する。
- ② 必要に応じて大きく曲がる部分、転倒の恐れがある支柱については、監督員の指示により、ロープ等で補強する。

IV 出入り口

- ① 監督員の指示のあった箇所に設置する。

V その他

- ① 上記に記載してある仕様によりがたい場合は監督員の指示による。

特記仕様書

事業内訳書により個別に事業期間が指定されている作業について、下記提出期限までに監督職員と調整の上部分完了届等を提出すること。

作業種	提出期限	備考
下刈	令和7年9月12日	部分完了届
新植地拵・獣害防護柵作設 歩道整備（新設）	令和7年12月12日	完了届

注1：作業が完了している場合は可能な限り纏めて部分完了届を提出すること。

注2：契約内容の変更により事業期間が変更された場合は、変更後の事業期間末日までとする。